

竹川病院 塩川 美穂(看護師)

功 績	新型コロナウイルスに同科職員が罹患し一人きりになった状態でも笑顔で乗り越え、仕事に対する姿勢が周りへ良い影響を与えている功績。
推 薦 者	畑中看護部長
推 薦 理 由	看護業務に対するプロ意識、接客姿勢、ワンチームへの姿勢は他の職員の模範となる為推薦させていただきました。

内 容

竹川病院では院内クラスターは幸い発生していませんが、散発的に職員が新型コロナウイルスに罹患し業務に対し、既存の職員に負荷がかかることがあります。

特に塩川は、平成25年に新卒看護師として入職し在籍期間9年5か月目を迎える看護師になります。笑顔で患者さん、多職種へ接することができる職員になります。

今年の7月は新型コロナウイルス第7波の煽りを受け、当院でも看護職をはじめ職員の罹患が確認され、外来看護業務を一人で対応することになりました。

また、病棟看護師の配置がままならない際には、率先し病棟看護業務にも入ることもありました。検査技師が不在になった際にも自身でできる範囲の業務についても率先して対応するなど、検査業務に遅れがないようにワンチームの意識で行動していました。

プライベートでは、自宅を離れ近隣のビジネスホテルに宿泊し、家庭内感染予防を行い業務が継続できるよう普段からの感染予防意識を持ち看護業務にあたっており、罹患した職員が復帰するまで、外来診察、健診等支障をきたさず乗り越えることができました。

依然として新型コロナウイルス第7波の影響は少なからずある状態ではありますが、自己の職務に対するプロ意識や多職種、他部署への協力姿勢は周りの職員に多大なる影響を与えており彼女と一緒に仕事に携わると自然に周囲が笑顔にもなる存在であることから理事長賞に推薦いたします。